

中学生が 1日入国審査官に

玉造中学校の生徒5人が6月15日、成田空港で東京入管成田支局の1日入国審査官を体験。
「最初はドキドキした」と緊張気味でパスポートを旅行者に手渡していた生徒たちも、慣れてくると笑顔で対応していました。



初めての体験にドキドキ



委嘱状を受ける生徒たち



北羽鳥北部で祇園祭 白丁姿の大人みこしが 練り歩く

例年より早い梅雨明けとなった7月11・12日、北羽鳥北部で恒例の祇園祭が行われました。祭の日を土・日曜日にするところが多いなか、この地区では逆に元の例祭日に。「祭の開催日を含め、古くからの伝統を大切にしたい」と、祭愛好会長の堀川昇司さん。白丁姿の大人たちが担ぐみこしが、夏の田園地帯を威勢よく練り歩きました。



伝統の重さを感じる大人みこし（12日）



子どもたちが担ぐ露払い役のオチオチ（11日）

世界陸上に出場 吉澤賢さん（飯田町）

カナダエドモントンで8月3日（現地時間）から開催される世界陸上に出場します。出場種目は400mハードル。順天堂大学のグラウンドや中台陸上競技場で練習・調整を重ね、世界へ挑戦します。みなさん応援してください。

サンブルーノ市中学生
が来成
各地で広まる
交流の輪



成田の夏を満喫

6月30日から7月8日まで本市を訪問した、姉妹都市サンブルーノ市の中学生6人は、久住中学校で剣道や白玉づくりを体験しました。初めてつける防具に戸惑いながらも竹刀で勢いよく「めん」。また、房総のむらの見学や祇園祭にも参加するなど各地で交流を深めていました。

インドネシアから研修生
リサイクルプラザなどを見学



インドネシアの中堅行政官23人が廃棄物処理行政研修の一つとして、6月19日リサイクルプラザといずみ清掃工場を訪れました。ベルトコンベアーで流れてくるビン・缶を手際よく仕分ける様子などを見学。インドネシアでの廃棄物行政に役立てようと、市担当者らへの熱心な質問が相次ぎました。



米国イオンド大学
から名誉博士号
高柳正平さん（南羽鳥）

成田観光自動車の経営者としての活躍や、郷土史研究者として長年にわたる福沢諭吉と成田市の関係についての研究と執筆活動が高く評価され、米国イオンド大学日本校から名誉博士号（経営学）が贈られました。